

八頭町総合教育会議(第10回) 会議録

- 一 日 時 令和5年12月21日(木)15:00～17:30
- 二 場 所 船岡庁舎 1階 庁議室
- 三 出席者 吉田町長 木嶋総務課長
藪田教育長 山崎委員 上島委員 大上委員 谷口委員
- 事務局 新田次長兼学校教育課長、田中社会教育課長
書記 学校教育課係長 石田
- 四 議事日程
- 1 開 会
 - 2 会議録署名委員の指名
 - 3 町長あいさつ
 - 4 協議事項
 - (1) 令和5年度全国学力、学習状況調査の結果
 - (2) 令和6年度当初予算の基本方針について
 - ① 八頭町共通学力検査
 - ② 少人数学級
 - ③ 特別支援員の充実
 - ④ 通級指導の充実
 - ⑤ 大学等入学支援事業
 - ⑥ 八頭高等学校生徒下宿費補助金
 - ⑦ 八頭町県外優秀アスリート受入支援事業
 - ⑧ 県外優秀アスリート民間学生寮運営事業
 - ⑨ スポーツ指導員の継続配置
 - ⑩ 特別支援学校登校支援(医ケア児含)
 - (3) いじめ・不登校の状況について
 - (4) ICT、DX の取り組みについて
 - ・ICT 支援員の継続配置、スパトレ、eラーニング、百問繚乱
 - (5) 小・中学校改修事業について
 - (6) スクールバス運行について
 - (7) 各校コミュニティ・スクールの状況について
 - (8) 今後の課題
 - ① 中学校休日の部活動の地域移行について
 - ② 学校給食について
 - ③ 町内図書館の休館日の変更について
 - ④ 公民館(地区公民館含)のありかたについて
 - 5 その他
 - 6 閉会

— 会 議 の 経 過 —

1 開 会 15:00

2 会議録署名委員の指名

大上教育委員 谷口教育委員

3 町長あいさつ

- ・教育会議の前段に大綱がある。大綱の目的は、町長部局と教育委員会部局が一緒になって教育行政を推進していくことだと思う。

残念ながら、少子高齢化で先月 11 月中には 66 人の人口が減少した。亡くなった方は 30 人くらいで、生まれたのはひとり。

地域の子ども達の一人ひとりの個性を伸ばす教育、ふるさと教育で、ふるさとを愛し、誇りを持った子ども達が育つように頑張ってもらっていると思う。コミュニティ・スクールをそれぞれの学校で活用されていると思う。

私の時代に ICT 関係はなかった。今はタブレットが一人 1 台の時代で、現場の先生も大変だとは思いますが、時代の流れを捉えて対応してほしい。

- ・郡家西小学校も改修工事が昨年終わり、今年、来年で郡家東小学校の大改修工事を行う。

4 協議事項

(1) R5全国学力、学習状況調査の結果について

- ・小・中ともに鳥取県平均はすべての教科で上回った。しかし、全国平均で比べると、小学校の算数と中学校の英語が下回った。

- ・小学校の算数では「変化と関係」「データの活用」が低い。データ活用能力は今求められている力で、算数以外の教科でも活用する場面が多くある。算数で培った力を他教科と関連付けながら学習を進めていくことで、生活に生きる力として育んでいきたい。

- ・英語は読むこと以外が伸び悩んでいる。聞くこと、話すことに関しては、環境的に外国の方と関わる機会が少なく、経験不足が要因として考えられる。今年度から、オンライン英会話を導入し、1対1で英語を話す外国人と教科書に沿った内容について会話する学習を年 3 回行った。生徒は楽しみにしており、苦手意識が減ってきていると感じる。

書くことについては、単語の量が増え、小学校英語から中学校に行くレベルが上がり、つまり生徒が多くいるため、昨年度から小中学校それぞれの英語担当教員の連絡会で一緒に取り組めることについて協議している。

- ・生徒質問紙による意識調査も行っている。

先生や友達についての設問で、90%以上の児童生徒が肯定的な回答をしており、全国平均と比べてもかなり高くなっているが、人間関係に悩んでいる児童生徒もいる。相談して乗り越えられるよう、担任の先生を中心にスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携しながら相談活動に積極的に取り組んでいる。

読書量が少ないことが気になる。学校の授業でも動画を使った学習が増えて

きているので、活字離れが進んでいると感じる。読書は心の栄養なので、家庭にも読書の良さを伝え、読書に親しめる環境を作っていきたい。

(2)R6当初予算の基本方針について

① 八頭町共通学力検査

- ・八頭町では標準学力調査を小学校1年生から中学校3年生まで全員が受けている。小学校は12月、中学校は1月に行うので、1年間の学習内容が身についているかを見るための貴重な検査。子どもも先生も一年間を振り返る良い機会になっている。中学校になってから伸びる傾向にある。
- ・全国学力学習状況調査は小学校6年生と中学校3年生が受ける。

② 少人数学級

- ・中学校が1年生は全額県費だが、3年生の協力金一人当たり500万円で2名分お願いしたい。
今年の1年生に課題があり、手を尽くしているところ。

③ 特別支援員の充実

- ・令和6年度の特別支援学級は郡家東小学校が3クラス、郡家西小学校5クラス、船岡小学校が3クラス、八東小学校が2クラス、中学校が5クラスとなっている。予算は小学校に合計17名と中学校に2名要求させてもらっている。それとは別に、郡家東小学校と八頭中学校に日本語指導のいる児童生徒がいる。数的に多いと思うが、八頭町は5歳児健診の早いうちからきめ細かに対応してもらっており、早いうちに通常学級に戻れるよう先を見て対応させてもらっている。

④ 通級指導の充実

- ・郡家西小学校を拠点校として、今年度は郡家東小学校3名、船岡小学校5名、八東小学校3名に各学校から通って通級指導を受けてもらっている。郡家西小学校は6名。対象児童は特別支援学級ではなく、通常学級の児童が条件。
- ・送迎が難しい家庭については、タクシーを利用している。その場合は、1限目に保護者に郡家西小学校まで連れてきてもらい、授業が終わったらタクシーで自分の学校に帰っている。
- ・年々、対象人数も増えてきている。今年度は17名だが、控えがたくさんいる。通級指導できる教員を2名配置してほしいと県にお願いしているが、元々の教員不足にあわせ、通級指導ができる先生の数も少ないので、実現できていない。
- ・誰でも通えるわけではなく、入級判定会をして決定している。

⑤ 大学等入学支援事業

- ・今年度から始まった事業。今年度は4名だった。来年度は8名分計上している。

⑥ 八頭高等学校生徒下宿費補助金

- ・令和5年度は3名が八頭高校に通っている。令和6年度は現在の認定者が2名で、新入生の見込みが8名。

・福岡食堂に下宿中の生徒については、漏れがないか確認する。

⑦ 八頭町県外優秀アスリート受入支援事業

・八頭高校ホッケー部に県外から優秀な生徒を受け入れている。生活費として一人当たり月額5万円を補助している。来年度の予定は13名。新3年生が3名、新2年生は2名、新1年生を8名としている。新1年生は今年度も8名予定していたが、実績は2名だった。県と町がそれぞれ1/2の負担割合とする。

⑧ 県外優秀アスリート民間学生寮運営事業について

・錬志寮、翠翔寮の管理人と調理員、巡視員について県と1/2ずつ負担して民間学生寮を運営するもの。同窓会にお願いしている。
・人件費の調理員の単価と共済費の労災保険の掛け率が管理人と調理人共に昨年より上がっている。

⑨ スポーツ指導員の継続配置

・スポーツ指導員はホッケーの普及・強化活動を行っている。主に小学校、中学校の大会等と平日は船岡小学校以外の各小学校で曜日を決めて出ている。土曜日は鳥取ホッケークラブで八頭高等学校から練習をしている。
・小中学校共に人数の確保が難しくなっているため、体験会を開催し普及を図っている。
・総合型地域 SC 研修会に参加し、公認アシスタントマネージャーの資格を取得されている。中学校の休日の部活動に移行していく場合、受け皿として地域スポーツクラブを設置する際に協力してもらえると考えている。

⑩ 特別支援学校登校支援(医ケア児含)

(1) 医療的ケア児の通学支援について

・今年、町長と教育長に働きかけしてもらい、車両取得について補助がついた。今年11月にリースで新しいリフト車が来た。現在は児童3名について鳥取養護学校への登校支援をしている。支援をすることで登校日数が増えていると学校、保護者から有り難いと言葉をもらっている。
・今まで登校支援には運転手と看護師を委託していたが、看護師が運転をしながら看護業務もしていた。令和6年1月からは運転手を町で探して対応している。看護師は今年度でやめられるので、新しい人財を探していかないといけない。
・児童は現在小学部なので、いずれ中学部に上がっても教育委員会で義務教育期間中は支援を継続していきたいと思っているが、中学校を卒業して、高等部に上がる時にどうしていくかが課題になっている。関係機関(福祉課)と話をしていないといけないと思っている。

(2) 特別支援学校(白兔養護学校)の通学支援について

・中等部の生徒が白兔養護学校のスクールバスで通学しているが、スクールバス乗り場まで送迎していた祖父が高齢のため、免許を返納された。代わりに保護者が送迎しているが、出勤時間とスクールバスの時間が合わないため、八頭町に支援してもらえないか学校から強い希望があった。平成27年と28年に白兔養護学校に通う生徒の送迎をNPO法人に委託し通学支援を行った経過もあり、同じよ

うに何らかの方法で交付金を使いながら支援していけないか探っているところ。

(3)いじめ・不登校の状況について

①令和5年度 児童生徒の不登校に関する調査

- ・30日以上欠席した児童生徒の数を上げている。連続で休んでいるわけではない。合計して30日以上。
- ・昨年度より減っている。

(総務課長)昨年度は中学3年生の不登校が多かった。同学年で表すと、比較したら実際は増えている。多い学年が卒業すれば減って見える。

(次長)比較の仕方を考えたい。

②令和5年度 児童生徒の問題行動等に関する調査

- ・4月～6月に問題行動、いじめが多く集中しているが、新しい環境になった不安が大きく影響しているように思う。

③やず教育支援センター「みどりヶ丘教室」の通級状況

- ・現在、15名が通っている。今年度は若桜町の児童生徒は0人だが、対象者が居ないわけではない。若桜町は福祉と連携した居場所に通っている。
- ・在学中に学校復帰できていない児童生徒が、高校受験を機にとり、卒業後に活躍している子供たちが多く居る。ここでの活動は子供たちのサポートとなって、社会に復帰するための基礎になっていると感じている。

(4)ICT、DXの取り組みについて

①ICT支援員の配置(継続配置)

- ・予算にも関係してくるが、めまぐるしく変わるICT環境下で時間に余裕のない現場教員にとってICT支援員の配置は有り難く、引き続きお願いしたい。

②スパトレ(オンライン英会話授業)

- ・マンツーマンで英会話していくスパトレは、ネイティブな発音に親しみを持てるよう本年度から中学生を対象に各学年が年3回している。来年度は1年生が3回、2年生と3年生は年に5回したいと考えている。

③eラーニング(ICT機器を使った学習)

- ・ネット環境がない家庭が1割程度あり、ネット環境がなくてもICT機器を使って学習できる教材。小学校でも持ち帰りが増えてきており、eラーニングを使った学習機会が今後増えていく。

④百問繚乱(自動採点システム)

- ・中学校で使用している。自動採点だけでなく、集計や分析もでき大変重宝されている。

(5)小・中学校改修事業について

①郡家東小学校寿命化改修

- ・令和5年度から6年度にかけて長寿命化改修を行っている。現在は進捗状況は予定どおり進んでおり、来年度2学期には改修した校舎で授業ができる予定。

②今後考えていく必要がある改修工事

(1)八東小学校体育館改修工事

- ・旧八東若者体育館を八東小学校の体育館と使用させてもらっているが、体育館自体は大変痛みが激しく、床や壁面のささくれや亀裂がある。児童が怪我をする可能性もあり、早急な対応が必要と感じている。

(2)町内小中学校体育館の非構造部材の耐震工事

- ・校舎については耐震工事しているが、学校体育館のバスケットゴール、照明器具、固定窓等の耐震調査と工事について、文科省から令和10年度までに完了するように通知されているので、今後検討していかないといけない。

(3)船岡小学校エレベーター設置工事

- ・各小学校が改修時にエレベーターを設置しており、船岡小学校だけがない。障がいのある児童の受け入れができる環境を整えるためにも町内学校の環境は同等に整備していきたい。

(6)スクールバス運行について

- ・運転手不足のため、減便してほしいと委託業者からお願いされている。現行の11台から9台の案を考えている。
 - ・運営委員会を開催後に保護者説明を行う。
- (総務課長)利用しない3台の今後について、取り扱いを協議させてほしい。

(7)各校コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の状況について

- ・運営協議会は各校2回開催し、第3回を年度末に開催して、今年度の評価や次年度に向けての方針について協議する予定としている。

(8)今後の課題

①中学校休日の部活動の地域移行について

- ・県の方針が出され、できるところから実施していくようにとのことであるが、受け皿が難しく、地域移行しないという選択肢も含め、関係機関で考えていきたい。

②学校給食について

- ・給食センター調理員が不足しており、米飯提供を委託にしてはどうかという声も調理員から上がっている。
- ・昨今の食材費高騰により、給食費の値上げもせざるを得ない状況である。

③町内図書館の休館日の変更について

- ・12月末で図書館司書が1名退職予定のため、1月から3月までは現在の司書を上手に活用しながら現状どおりとし、4月以降は船岡図書館、八東図書館の休館日を日曜日・月曜日とする。

④公民館(地区公民館舎)のありかたについて

- ・地区公民館をコミュニティセンターに移行していきたいが、地区公民館の館長、主事のなりてもなかなか厳しい。いきなりは難しいのでモデル地区を考えている。

- ・中央公民館が築48年経過し老朽化が進んでおり、中央公民館もどうするか考える時期が来ている。建て替えるのであれば、図書館もあわせて考えていきたい。(町長) 地区公民館のありかたについては議員から一般質問があり、10年を目途にと答弁していると思う。いつのことだったか確認しておくこと。

5 その他
特になし

6 閉 会 17:30